



回収したごみを運ぶ参加者

北上川流域一斉清掃活動が4月20日、水沢・江刺・前沢で行われました。地域住民ら約560人が参加し、河川沿いを歩きながら、雪解けで目立ち始めたごみを集めました。ごみの中には畳や布団なども見られ、参加者からは驚きと落胆の声が聞こえました。きれいな北上川を取り戻すため、参加者は早朝から約1時間、清掃活動に精を出しました。

## 「市民の参加で北上川をきれいに」



決意表明する朝日田恭博会長

春の全国交通安全運動と春の地域安全運動に先立ち、水沢署管内の両運動出動式が4月5日、水沢警察署を会場に、関係者など約200人が出席。水沢地区少年警察ボランティア協会の朝日田恭博会長は「犯罪のない地域社会を目指す」と決意表明しました。式後、出席者は交通指導車などで街頭啓発に出動。交通安全と防犯を呼び掛けました。

## 「安全で安心なまちを目指して」



新しくなった真城小学校の校舎

真城小学校の新校舎落成記念式典が4月27日、同小学校体育館で行われました。式典には学校関係者や地域住民ら約300人が出席。児童を代表して、6年の鈴木陸君（11）は「心を込めて掃除し、後輩たちにきれいな校舎を引き継ぎたい」と述べました。また、4年生から6年生までの児童が合唱「地球星歌」を披露。新しい体育館に歌声を響かせました。新校舎は一昨年の12月、体育館はことし1月に完成。今後は校庭とプール整備が予定されています。

## 「真城小落成式典」



家族に囲まれ喜びをかみしめる米治さん

市は4月1日に満百歳を迎えた菅原米治さん。前沢区字簾森Ⅱに記念品を贈り、長寿を祝いました。米治さんは胆沢区小山に生まれ、24歳で故郷・サタさんと結婚。3男1女をもうけ、孫7人、ひ孫2人に恵まれました。稲作などの農業に励み、昨年夏まで草刈りをしていました。野菜をしっかりと食べるのが長寿の秘訣です。

## 「おめでとー！百歳を祝い記念品」



開花した桜を指差す園児たち

市は4月17日、水沢公園内にある桜の開花を宣言しました。開花したのは推定樹齢約100年のソメイヨシノ。昨年より4日早く咲いた数輪の桜を確認し、小沢昌記市長が開花を宣言しました。この日、駒形保育園（山下量子園長、園児235人）の年長児、わくわく組ぞうグループの13人が同公園を訪れ、待望の開花を喜び合いました。

## 「待望の桜開花に歓声響く」

# わかやなぎ 若柳地区振興会

■代表者：会長 亀井 欽一  
■人口：2,529人（男1,210人／女1,319人）  
■世帯数：731世帯  
■拠点：若柳地区センター  
（胆沢区若柳字相馬檀144番地 ☎03148・FAX03227）  
（平成25年3月31日現在）

# 結 -ゆい-

～ 30の地区振興会による協働のまちづくり実践事例 ～

特色のある地区振興会の事業を紹介するこのコーナー。シリーズ13回目は、胆沢区の若柳地区振興会を紹介します。

若柳地区は、胆沢区の主要観光スポットであるひめかゆスキー場や温泉、胆沢ダムなどがあり、焼石岳へと続く国道397号と広域農道が地区内の中央を通っています。美しい散居集落が広がり、稲作を基幹産業とする田園地域です。

若柳地区振興会は、平成20年3月に設立。現在、「地域振興」「産業振興」「福祉環境」「教育文化」の4部会の構成で20年度に策定した若柳地区コミュニティ計画を基に「やすらぎとるおいの郷」のまちづくりを目指して、各種事業を展開しています。その中から特徴的な事業を紹介します。

■ふれあい庭払いまつり

毎年11月に開催しているこの祭り。「庭払い」は、その読みのとおり庭を払うことが語源。1年の農作業が全て終わり、農家の人たちが庭を掃除して、労をねぎらう行事です。昔は各家庭で行われていたこと

の行事は、収穫への感謝の気持ちを込めて、地域全体を盛り上げようと企画し、始めたイベント。昨年度で24回を数えました。地域の伝統芸能の披露、野菜の展示、各団体からの発表などを行いました。

昨年は特別企画「復興支援海鮮市場」を開催しました。陸前高田市・広田産の海産物などを販売。収益金と設置した募金箱に集まったお金を広田漁協に寄付しました。農耕文化の流れを組む一大イベントとして、地区民一体となり取り組んでいます。

■やなぎふれあい夏まつり

お盆前の土曜日に開催する地域の団体などがステージ発表



地域の団体などがステージ発表

この祭りは、当初は地元商工団体の主催で行われていたもので、23年度からは振興会との共催という形であり、身近なまつりをテーマに、各行政区民総参加の「夏の風物詩」として定着しつつあります。お盆前の時期ということもあり、帰省客も多く来場します。昨年は700人ほどが会場に足を運び、夏の夜祭りを楽しめました。子ども会による神輿担ぎ、七夕飾り、ビンゴゲームなど子どもから大人まで楽しめるさまざまなイベントを企画しています。「七夕飾り」は行政区や地元福祉施設などが工夫を凝らした飾り付けしたもので出展し、祭りに華を添えました。地元在住の煙火師により打ち上げられた花火でクライ



七夕飾りと子ども神輿

■環境整備事業

同地区は国道397号などの幹線道路が通っており、交通量も多いところです。そのため、車で通行する観光客が気持ちよくドライブしてほしいという地区民の声から、6月と9月に「草刈デー」を企画。それぞれ8日間、道路の草刈作業を地域一体で行っています。農繁期など、農業用機械の道路への出入りが頻繁になる時期には、道路汚染防止啓発活動として、チラシ配りなどの周知活動を実施。従来の秋田県方面への通行や焼石岳の登山客などに加え、胆沢ダムの完成や28年のいわて国体などによる観光客が多く見込まれます。地区民挙げてのさらなる環境美化への取り組みに余念がありません。



草刈デーのぼり